

2022年5月3日発行

22-18号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**生きづらさ**

人と直接会わずにいても、ネット上で誰かから常に見られている、常に評価されているということが「常識」のようになり、他者を批判するときも顔が出ず匿名なので、まったく容赦なく裁くことが行われる時代です。そのような時代を生きることがつらく感じて、病んでしまう人に向けて、川代紗生さんが書いた本『私の居場所が見つからない。』（ダイヤモンド社）紹介してありました。その本には、川代さんの8年にも及ぶ承認欲求との闘いが描かれているということです。

記事には、川代さんがアメリカ留学のときに見つけて衝撃を受けた文章が紹介されていました。

“It’s better to live your own life imperfectly than to imitate someone else’s perfectly.”

「不完全でも自分の人生を生きるほうが、他人の人生を完璧に真似するよりずっといい」。

その文章を読んで、川代さんは、他人の人生をまねして、手軽な幸せを手に入れようとしている自分を発見したそうです。つまり、自分の幸せの形はすでに出来上がっていて、それを完璧にトレースしさえすれば、自分は確実に幸せになれると思い込んでいたことに気づいたということです。そこで、「生きづらさ」を感じるのは、「他人の人生を完璧に生きること」に力を注いでいるからではないかと言われています。人生を生きていると、「他人の人生」のサンプルが次から次へと流れてくると言われます。仕事も恋愛も結婚も生き様も、食べ方も子育ての仕方も、ちょっとした言葉の使い方も、人生の哲学まで、「あなたはこういう考え方をした方が幸せになれますよ」とご丁寧にサンプルが並べられている時代だということです。そのサンプルの中で、どれを選ぶのかと悩み、何か一つを選んでしまったら、それを完璧に真似することが人生の目的になってしまうので、生きづらいのだということです。川代さんは、そうではなく「どれも選ばなくてよい」から、「不完全でもいい。下手くそでもいい。自分の力で道を選ぼう。」と言われます。それによって、生きづらさから解放されるということです。（4月28日DIAMONDonline＜人生が「生きづらすぎる人」に共通するたった一つの思い込み＞より）

自分の人生、それはなんでしょうか。自分で自分の人生を考えて、それを見つけようとして、簡単にできるのでしょうか。ひとりひとり、生きる目的がありますが、その目的は自分で見つけて、それに向けて走るべきだと思っています。実は、それこそが思い込みなのです。人間は自分勝手に生きて行く存在ではありません。人間として生きる目的があり、その中で、ひとりひとりに生きる目的が与えられています。まず、人間とはなにかを知る必要があります。人間とはなにか、なぜ生きるのか、それについてお伝えしたいことがあるのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください